

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス ほっこり				公表日 R8年3月1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・部屋を分けて活動し、ケガの回避や集中力向上に役立っています。 ・小グループでの活動を行うことで質の高い支援を行える環境づくりをしています。	児童が一つの部屋に集まりすぎないよう別室に誘導しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・アルコール消毒や空気清浄機を用いて清潔な空間を心がけています。 ・視覚的にわかりやすいように活動スペースの線引きをしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		痲癢を起したときに一人で落ち着くことが出来る部屋があります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1		ミーティング記録を残し、パート職員とも情報共有を行っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		年に1回保護者アンケートを取り、要望や困りごと等を取り入れる機会を作っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日々のミーティングや年に2度の面談の機会を設けて、業務改善に取り入れています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		第三者による外部評価制度の導入を本社と検討いたします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		3カ月に1回職員研修を開催しています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		5領域を用いて1人1人に合った支援プログラムを取り入れています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		年に1回保護者アンケートを取り、要望や困りごと等を取り入れる機会を作っています。 また、アンケート以外でも日々の送迎時に聞き取りを行い、その都度支援の見直しを行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		正社員・パート職員も一緒になって、職員間で情報共有を行いながら計画を作成しております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		日々のミーティング時に情報共有を行い、必要な際はその都度支援の見直しを行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	2		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員皆で話し合い、活動プログラムを作成しています。 小グループでの活動も取り入れ、1人1人に合った支援が提供できるように工夫をしています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	インターネットなどで活動内容の見直しを行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		小グループでの活動を取り入れ、個別活動と集団活動のメリハリをつけて活動を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝のミーティング時や、グループ活動前に打ち合わせを行い、活動前に説明を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		送迎終了時に職員間で必ず話し合いの場を設けています。また、ミーティング記録を残し、お休みの職員にも情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		日々、支援内容の記録を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		年に2回モニタリング会議を行っています。必要に応じてその都度モニタリング会議を開催しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3		困りごとに応じて行政をはじめ各関係機関と連携して助言をいただけるようにしています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		マチコミなどの学校からの連絡ツールや、下校時に確認などを行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	学校、保護者と連携を取って、進学、就労に伴い情報提供をしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		連携を図ることが出来ませんでした。次年度は必要に応じて助言いただけるよう工夫致します。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		交流会を実施できませんでした。次年度は年間スケジュールに地域行事の参加を組み入れていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1		参加した職員から全職員へ、協議会の内容を共有する工夫を致します。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		毎日の送迎時に日頃の聞き取りを行い、年に2回保護者アンケートなどを配布して聞き取りを行っています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	3		保護者同士の交流会の開催が実施出来ていません。次年度実施に向けて計画致します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			夏休みのイベントで保護者を招いてのバーベキューを行いました。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			事前に利用開始される児童について勉強会を行っています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			年に4回の社員研修の中に組み込んでいます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			日々のミーティングの際にヒヤリハットを共有し、対策まで話し合いを行っています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			社員研修に組み込んで勉強会を行っています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5				

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービス ほっこり

公表日 R8年3月1日

利用児童数 18

回収数 17

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15			2	物を移動させたりして工夫されている。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17				子ども1人1人に目を配り見てくれている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	1		1	マットを敷くなどして安全に配慮されている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15			2	掃除や整理整頓がされていて心地いいです。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1		1	・個々に合った支援が受けられて助かります。 ・カラダを動かしてほしいと頼むとすぐ対応してくれています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17				プログラムに沿って支援を行っていると思います。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	1			子どもの事や課題など細かく作成されています。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1		1	放課後等デイサービスのガイドラインがよくわからない。	しっかり説明を行い、ご理解いただけるように努めます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	1		1	1日1日楽しい活動を取り入れてくれています。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1		1	・色々な活動や行事など、多く取り入れ工夫されている。 ・たくさんの方の行事もあって子どもも楽しそうにしている。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	2		4		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	1		1	契約時に重要事項説明を用いてわかりやすく説明をしてくれています。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17				支援計画書を通して課題や目標などの説明を行っています。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12			5		ご家族で参加できる研修会を開催致します。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	16			1	送迎時にその日の様子を伝えてくれて助かっています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15			2	家庭の事や子供の様子など、親身になって助言をしてくれています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17				いつも笑顔で明るく接してくれるので安心して通えています。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10			7	保護者同士の交流はあまりありません。	事業所での保護者交流のイベントを開催します。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17				トラブルや何かあったときに相談した際はすぐに対応をしてくれています。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17				1日1日の様子を細かく伝えてくれます。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16			1	送迎時に口頭や、LINE、行事予定表などで伝えてくれます。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16			1	しっかり管理し、取り扱いには十分留意されていると思います。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13			4	もしもの場合、マニュアルなどがあれば助かると思います。	避難訓練の様子や緊急時の訓練が行われた様子を毎月の通信などを通じて発信いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13			4		避難訓練の様子や緊急時の訓練が行われた様子を毎月の通信などを通じて発信いたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1			安全に確保された活動や支援を行ってほしい、助かっています。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17				細かく説明を行って来て、その後の経過も気にかけてLINEや口頭などで聞いてくれます。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17				職員の明るさや優しさで接してくれているので安心しています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	1			いろいろな活動や行事など楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	17				子どもの事をしっかりと見ていて、保護者に対しての対応もよく、職員の明るさもありません。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス ほっこり		
○保護者評価実施期間	R7年4月1日		～ R8年3月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	R7年4月1日		～ R8年3月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・広さがあり児童の特性に応じて部屋を分けて活動できること。 ・小グループ制でのより密度の高い支援。 	<p>高学年から低学年まで活動できる工夫や、児童の能力に応じた活動が出来るようにしています。</p> <p>より丁寧な支援を目指して小グループでの活動を導入しました。目が届きやすい距離感になったことで、一人一人の目標や想いに向き合える密度の高い支援を目指しています。</p>	<p>「静」と「動」のバランスを大切に元気にエネルギーを発散する「動の活動」と、五感でゆったり楽しむ「静の活動」を、個々のペースに合わせて丁寧に行います。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの事業所は、身体に障害のある子ども、元気に体を動かせる子ども、分け隔てなく集える場所です。 ・多種車両があり、利用児童に応じて送迎対応しています。 	<p>喀痰(かくたん)吸引などの医療的ケアや車椅子が必要な子ども、積極的に体を動かす活動に参加しています。専門スタッフのサポートのもと、みんなと一緒に刺激し合い、挑戦する。そんな「みんな一緒」の経験を通じて、一人ひとりの豊かな心と可能性を育みます。</p>	<p>ご家族との「交流」を深める仕組みづくりを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きょうだい児支援：兄弟も一緒に楽しめる運動会やイベントを開催し、家族皆が交流できる居場所を作ります。 ・保護者同士のつながり：保護者同士が悩みや経験を語り合えるようなイベントを定期開催し、心強いネットワークを築きます。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの事業所では、お子様が日々の生活の中で季節の移ろいを肌で感じ、豊かな感性や社会性を育めるよう、年間を通して計画的に行事を実施しております。 	<p>・年間を通じた季節行事と施設行事</p> <p>日本の伝統を大切にした季節行事に加え、当施設独自の行事を「月に2回」定期的に設けています。</p> <p>(例：春のピクニック、七夕、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、書初め、節分、季節の創作活動、食育体験、外出レクなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の活用：児童館のイベントや図書館の読み聞かせ会へ積極的に参加し、同年代の子どもたちとの自然な交流を促します。 ・地域行事への参画：地元の夏祭りや文化祭への見学・出展を通じ、社会の一員としての意識や公共マナーを実体験から学びます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の交流を図る機会が不足している点。	日々の支援に重点を置く一方で、保護者様同士のコミュニティ形成を支援する行事の開催が少なくなっております。	今後は「保護者参加型イベント」を年間行事へ積極的に取り入れ、情報交換や悩みの共有ができる場を整えていく予定です。
2	地域と関わる機会が不足している点。	年間プログラムが内部完結型となっており、地域参加型のイベント立案が不十分であったことが要因です。	今後は、施設のイベント開催に加え、地元の夏祭りや文化祭への積極的な参加を年間計画に組み込みます。
3	トイレのスペースが狭い点。	介助を必要とする利用者の増加に伴い、トイレ内のスペース不足が生じています。現在は代替場所での対応を行っています。	プライバシーと衛生管理を徹底しつつ、ハード面の改善に向けた環境整備を進めています。